

令和元年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 20 日 午 前	山戸重治議員（市民連合）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 市長の市政運営と新本庁舎について</p> <p>(1) 災害復旧の現状と今後については、どのように認識しているか</p> <p>(2) 2020年度までの3年間での全面復旧は可能なのか</p> <p>(3) 「先人から受け継いできた尾道の礎をもとにした、これまでの尾道を超えるまちづくり」とは、どのようなまちづくりなのか</p> <p>(4) 新本庁舎で整備される「市民が集い憩える公共空間」とは、具体的にどのような形になるのか</p> <p>(5) 新本庁舎の多目的スペースの収容可能人数と利用方法など</p> <p>(6) 新本庁舎の会議室や屋上など公共空間の休日夜間の開放は具体的にはどうなるか</p> <p>(7) 尾道の新しい魅力の一つとして新本庁舎の情報を広く発信することが必要ではないか</p> <p>2 「尾道港開港 850 年」について</p> <p>(1) 尾道港や周辺の機能向上について、具体的な計画はあるか</p> <p>(2) 広島県が開催している「尾道港の賑わい創出のための検討会」の状況はどうなっているか</p> <p>(3) 尾道港へのクルーズ客船の誘致に向けた港湾施設の現況調査の結果、寄港できる条件となっているか</p> <p>(4) クルーズ客船寄港誘致は進んでいるか</p> <p>(5) 市内全世帯と児童・生徒に配布する計画の「尾道港開港 850 年記念冊子」の内容と配布時期について</p> <p>(6) 「尾道港開港 850 年記念事業」は、他にどのようなものがあるか</p> <p>3 国道 184 号バイパス整備事業について</p> <p>(1) 全体の事業費はどの程度を見込み、現在までに使われた予算はいくらか、昨年度末時点の進捗率はどのくらいか</p> <p>(2) 門田工区の昨年度の予算規模と工事内容、豪雨災害の影響はなかったのか</p> <p>(3) 門田工区の今年度の予算規模や工事内容は</p> <p>(4) 用地買収が必要な耕地部の公図の訂正は完了したか</p> <p>(5) 山地部の用地買収はどのようになっているか</p> <p>(6) 門田工区の完成はいつ頃か</p> <p>(7) 新浜工区の整備計画はどうなっているか</p> <p>(8) 国道 184 号バイパス全体の整備完了はいつか</p>	